

1 学校経営の基本的な考え

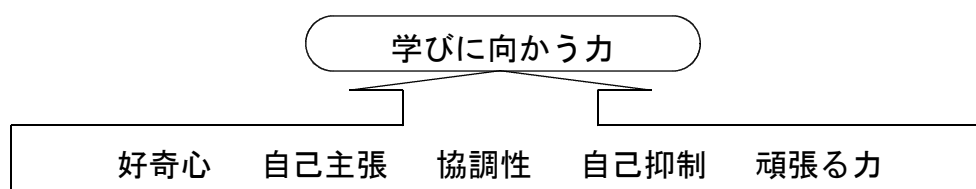
本校は、開校90周年を迎える歴史ある学校で、こどもたちは、生き生きと意欲的に学んでいる。保護者、地域の本校への期待は大きい。

「地域に支えられ、地域とともに歩む学校」を基本とし、保護者・地域の期待を尊重し、こどもが社会に出たときに、人生を幸福で豊かなものにするために、小学校教育で担うべき役割を明確化し、発達段階に応じた意図的・計画的な教育活動を組織的に行う。

そこで、社会の急激な変化や様々な人々との関わりの中において、こどもたちがよりよく生きていくために、一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、自分に自信をもち、主体的に行動し、意欲的に学ぶことができるよう質の高い、特色ある教育活動を推進する。

2 学校経営の基本的な考え

「こどもたちの学びに向かう力を育成する教育活動の推進」
～主体的・対話的で深い学びの追究を通して～



2 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生きる力の育成と広く国際社会に生きるこどもたちの育成を目指して、生涯にわたる学習の基礎を培う教育の推進にあたる。そのため、次の目標を設定する。

- いつも明るく元気な子
- よく考えてやりぬく子
- なかよくきまりを守れる子
- 心ゆたかなやさしい子

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

本校の教育目標は、学習指導要領が目指す、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を基本として設定する。そこで、次の基本方針に基づき教育課程を実践する。

おおた教育ビジョン 本校の重点

- 個別目標3 「一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成」
- 個別目標4 「学校力・教師力の向上」

- 方針1 確かな学力の育成
- 方針2 豊かな心の育成
- 方針3 健やかな体の育成
- 方針4 教職員自身に合った働き方の推進

（方針１） 確かな学力の育成

各教科等において、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、確かな学力を身に付けさせる。また、算数科における習熟度別少人数指導を実施し、基礎・基本の徹底を図るとともに、GIGAスクール構想に基づいた個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

様々な学習場面や生活場面で遭遇した問題に対して、自ら主体的に情報収集を行い、現状分析・把握をし、課題を見付け、協働的に解決していく問題解決能力や、考えたことについてタブレットを活用するなど、よりよく相手に伝えることができる表現力やプレゼンテーション能力の育成を図る。

〔具体的な教育活動〕

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るため、算数少人数指導やAI機能を活用したドリルパークなどタブレットによる繰り返し学習を実施し、個別最適な学びや個に応じた指導の充実を図る。
- ・実物や本物に触れる体験的な活動や身近な問題として捉える問題解決学習の学習過程を設定し、学び方やものの考え方、表現する力を身に付け、課題を探究する態度や姿勢を育成する。
- ・自分から進んで課題に取り組む等、児童の主体的な学習態度を育成する。
- ・児童同士の交流等、話し合う場を設定し、自他のよさや可能性（多様性）に気付き、協力し合う協働性を育む。
- ・発達段階に応じた情報活用能力を育成し、多様な情報を的確に判断し、活用する能力を養うデジタル・シチズンシップ教育を推進する。
- ・聞く・話す・発表・まとめる等の表現力を高める言語活動を充実する。
- ・家庭と連携し、児童の学習習慣を確立する。
- ・言語や文化について体験的に理解を深め、国際的な感覚を養い、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・特別支援教室（サポートルーム）を活用し、障害の有無に寄らず、合理的な配慮に基づいて一人一人の教育を保障する教育支援の充実を図る。

（方針２） 豊かな心の育成

教育活動全体を通して人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培うための教育を充実させる。また、自分を大切にするとともに、他の人を理解し思いやる心の育成を通して人権教育の充実を図る。

そのために、常に相手の事を考え行動することができる想像力を育んでいく。また、地域や異年齢の人と触れ合う活動を重視し、仲間や家族、地域の方、さらには自分を大切に、人のために考え、かかわり方の新たな価値を見だし、行動できる資質・能力を育成する。

〔具体的な教育活動〕

- ・特別の教科である道徳を要とする道徳教育を充実し、他者理解や思いやりの心情等を想像し、よりよい生き方の基となる道徳性を養う。
- ・様々な集団活動に自主的、実践的、創造的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活をよりよくしていく態度を育む。
- ・教育活動全体を通して、生命尊重を基盤とした教育と人権教育の推進を図る。
- ・音楽や図工における表現及び鑑賞の活動や、鑑賞教室など多様な表現や鑑賞の活動等の充実を図り、感性や感受を育む。
- ・年2回の読書週間を設定するなど読書活動の充実を図り、心情理解や想像力を高め、知的な好奇心を満たし、児童の読書を愛好する態度を育成する。
- ・いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見・早期解決に努める。
- ・特別支援学級三組との日常的な交流による、通常の学級に在籍する児童の障害理解教育の推進を図る。

（方針３） 健やかな体の育成

６年間の系統性のある体育・健康教育・保健教育を推進し、生涯にわたり、心身の健康と保持増進を図り、活力ある生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す。そのために、自分の健康や体力に関心を持ち、自分で健康管理や体力づくりができる力を育成するための教育活動を展開する。

〔具体的な教育活動〕

- ・運動することの楽しさや上達することの喜びを味わい、豊かでたくましい心と健やかな体を育むために、タブレット端末の有効活用するなど体育の授業を工夫し充実させる。また、体力調査の結果を分析し、体力向上の具体案を提出し改善を図る。
- ・基礎的な生活習慣の確立と健康な生活リズムの定着を図る。早寝・早起き・朝ごはんを推進し、規則正しい生活リズムを確立できるよう、保護者に協力をお願いする。
- ・「駅伝大会」「持久走大会」や「長縄跳び朝会」、投力や瞬発力を高める「元気もりもりタイム」等を実施するにあたり、これらを体育の年間指導計画に位置付け計画的に実施する。
- ・運動や集団で関わる機会を保障するために、時程を工夫して放課後遊びを設定するとともに中遊び、昼遊びを確実に実施する。

（方針４） 教職員自身に合った働き方の推進

「大田区立学校における働き方改革推進プラン」に則り、業務改善及びライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備を推進することで、教員が児童と向き合う時間を創出する。

そこで、教員でなければならないこと、教員でなくともできることを精査し、自分の仕事の進行管理能力（タイムマネジメント能力）を高め、効率化を図り、メリハリのある仕事の仕方を考えられるようにし、新たな働き方の価値を見だし、その働き方を互いに尊重できるようにする。経営の基本方針に位置付け取り組むことで、教職員自身が働きがいを持ち、よりよい教育の推進を図れるようにする。

〔具体的な教育活動〕

- ・教員の業務の精選をし、児童に向き合う時間や教材研究する時間を確保し、よりよい教育を実践する。
- ・自分の働き方を見つめ直し、自分に合った働き方を実践する。
- ・教職員同士の結びつきを強め、補完性を共有できる同僚性を高める。
- ・「プールシェア」等の地域が担う役割分担を模索し、教員以外の人材を活用できる取り組みを実践につなげていく。

４ 特色ある学校づくり

本校の特性、地域人材、近隣の環境等の地域の教育力を活用し、体験的な活動や伝統・文化的な活動を取り入れ、地域に根ざした教育活動を展開していく。また、実社会との結びつきを重視し、新たな時代を築き上げる力の素地を養う。

〔具体的な教育活動〕

一人一人を大切にした教育

- ・特別支援教室（サポートルーム）の活用や特別支援学級「３組」との日常的な交流
- ・算数習熟度別少人数指導実施（全学年）
- ・補習の充実（水、金、土、夏季休業中）
- ・放課後子ども教室の設置

新しい教育活動への挑戦、本校独自の教育活動

- ・「ブルートライアングルプロジェクト」への積極的な参画

地域・近隣環境の有効活用

○平和の森公園

- ・持久走大会
- ・縦割り班清掃活動「クリーンアップ」

○ふるさと浜辺の公園

- ・地場産業であった海苔付け体験

○高齢者施設（大森老人ホーム）

- ・訪問及び招待

○商店街（美原通り）

- ・職場体験及び見学、大森海苔の調査・探究

○学校地域支援本部「スクールサポート大五」による教育支援

- ・「夏のわくわくスクール」の実施
- ・読み聞かせ・図書ボランティア活動

5 目指す学校の姿

学校にかかわる全ての人が笑顔いっぱいになれるように、保護者・地域・学校が、「信頼」という絆でつながり、こどもたちの成長を共に喜び合える学校づくりを目指す。

- ①児童が、将来の夢をもち、自己肯定感を高めることのできる学校
- ②保護者が喜んで教育活動に協力し、共に児童を育てる学校
- ③地域の人々が、愛着と誇りをもち、連携して児童を見守り育てる学校
- ④教職員が児童の成長に喜びを感じ、組織力を発揮することでやりがいを感じることができる学校

6 目指す教師の姿

- ①こどものことを第一に考えるとともに「見る・聞く・認める」ことを大切にした教育活動を推進する教師
- ②国際化や情報化などの現代的な課題に対応しつつ、教科指導や生活指導、学級経営などの実践的指導力を高めるため、「自らも学び、自らも考える」教師
- ③互いに日々の実践を共有・振り返ることができる教員集団として互いに協力し合い、認め合い、高め、育ち合える同僚性のある教師